

## 議 事（6）

登別市地域公共交通計画の進捗について

基本方針 1 既存公共交通を基本とした持続可能な公共交通ネットワークの確保

目標① 公共交通の維持を目的とした便数・路線の見直し

目標② ライフスタイルに合わせた公共交通サービスの導入

数値目標					目標設定時
1) 平日の公共交通利用者 (1便あたり)					21.4人/日
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	22人/日	22人/日	23人/日	24人/日	25人/日
実績値 (見込)	調査中				
当該年度の状況	調査中				

- ・市内を運行している路線バスのうち市域の中心的なネットワークを担っている登別駅を通行する路線を抽出し、令和2年の乗降データから1便当たりの利用者数を現況値として算出。
- ・利用者数の確保と効率的な運行を行うことにより、1便当たりの利用者数の増加を目指す。

数値目標					目標設定時
2) 人口当たりの公共交通市費負担額					114円
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	110円	110円	105円	102円	100円
実績値 (見込)	138円				
当該年度の状況	R4年度補助額 ÷ R4.9月末人口 6,280千円 ÷ 45,453人				

- ・令和元年度における登別市の路線バスに対する負担額を人口一人当たり (住民基本台帳9月末時点) で算出した額を現況値として採用。
- ・人口減少下においても利用者の利用性を高めながら効率的な運行を行うとともに、国からの地域内フィーダー補助などを検討し、路線バスの健全化を図る。

数値目標					目標設定時
3) 補助対象路線の経常収支率					49.3%
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	50%	50%	55%	58%	60%
実績値 (見込)	39.4%				
当該年度の状況	対象路線4路線 (東町ターミナル～若山営業所、室蘭駅前広場～東町ターミナル～資料館前、登別温泉～資料館前、登別温泉～カルルス)				

- ・令和元年度における登別市の補助対象路線から経常収支率を現況値として採用
- ・路線バスの最適化を図りながら、効率的な運行による経費削減と国からの補助、利用者数の確保により、公共交通ネットワーク全体の経常収支率の改善に努める。

数値目標					目標設定時
4) 公共交通説明会等の実施回数					—
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	3回	3回	3回	3回	3回
実績値（見込）	1回				
当該年度の状況	・バスの乗り方教室実施（R4.11.6 イオン登別店）				

- ・公共交通の説明会としてバスの乗り方や危険運転に係る講座などを開催し、公共交通の認知度向上と利用者数の確保に努める

## 基本方針 2 輸送資源の総動員と連携による公共交通の充実

### 目標③ 乗務員不足に対応した輸送手段の確保

### 目標④ 既存移動手段を活用した支援体制の構築

数値目標					目標設定時
5) 公共交通サービスの満足度					51.6%
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	55%	55%	60%	60%	65%
実績値（見込）	52.7%				
当該年度の状況	まちづくり意識調査（令和4年度調査）結果報告書 P53 より、「やや不満」「不満」と回答した方が 50 歳代(60.4%)と 60 歳代(49.7%)で過半数に達しているものの、全体で「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合は 52.7%で過半数に達している。				

- ・令和元年度に実施したまちづくり調査 2019 の満足度を踏襲し、現況値として設定
- ・公共交通の施策を通じて、市民が利用しやすく満足度の高い公共交通ネットワークとなるよう取り組みを推進

数値目標					目標設定時
6) 乗務員の確保					452 人
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	460 人	460 人	465 人	465 人	470 人
実績値（見込）	調査中				
当該年度の状況	調査中				

- ・バスとタクシーの乗務員数を現況値として設定
- ・企業説明会や試乗体験などのイベントを積極的に実施し、公共交通のイメージアップと同時に不足している乗務員の確保に努める

数値目標					目標設定時
7) 新たな公共交通サービスの提供 (累計)					—
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	1件	1件	2件	2件	3件
実績値 (見込)	1件				
当該年度の状況	令和2年度にバスロケーションシステムを広域で導入したため、1件とした。				

- ・バスマップの作成、バスロケーションシステム、デマンド交通の導入、割引サービスなど、新たなサービスのあり方を検討し、概ね2年おきに新たなサービスを提供するよう努める

### 基本方針3 地域住民・観光客に対する安全・安心な移動支援

#### 目標⑤ 観光客に対応した移動支援

#### 目標⑥ 公共交通空白地域における移動支援

数値目標					目標設定時
8) 観光客向けの公共交通支援 (累計)					—
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	1件	1件	2件	2件	3件
実績値 (見込)	0件				
当該年度の状況	グリーンスローモビリティはR5.3月に実証運行、R5.4月から本格運行の予定のため0件となった。				

- ・観光客向けのバスマップの作成、Ma a Sや割引サービスなど、新たなサービスのあり方を検討し、概ね2年おきに新たなサービスを提供するよう努める。

数値目標					目標設定時
9) 公共交通の人口カバー率					82.63%
	R4	R5	R6	R7	R8
目標値	83%	84%	85%	88%	90%
実績値 (見込)	82.63%				
当該年度の状況	市内路線バスの廃止はなく、公共交通空白地域の解消もないため、現状維持となった。				

- ・バス停及びJR駅からの公共交通勢力圏とH27国勢調査の市街化区域内の人口から現況値を算出
- ・デマンドバスの適用や路線バスの運行経路の再編などにより、公共交通空白地域への支援を実施し、人口カバー率の向上を図る